

MANGADORON | Getting Old...



山路を登りながら

MANGADORON Getting Old...

オデッセイ

オリンピック

レンズ

水平線

冬のつぶやき

白夜

Bous Truck

冬のつぶやき [Uenov Mix]

MANGADORON are

ゆうたレッド *Vocal.Guitar.* 好きな漫画:須田信太郎「江戸川ハートブレイカーズ」

福島コウジ *Bass.* 好きな漫画:沙村広明「無限の住人」

高橋ケイ *Drums.* 好きな漫画:藤田和日郎「うしおとら」

All Songs are Written by MANGADORON.

Recording / Mixing / Design / Produce / Direction :

Yuta Nakamura & MANGADORON.

Mastering : Shin Natsuki [STUDIO WANNA]

ReMixing : Uenov

Recorded at Cafe au Label Studio.



NDRD-0004



オデッセイ

またそうやって嘘をついて
かといって正直言ってみたって
心と心の空間にぼんやりと消えてく

手足動かすので精一杯 届いた手応えもないフリ
「笑えばいい」 それ知ってるくせに平行線を泳ぐ

同じ色なのに 同じ水なのに 同じ土なのに
同じ船なのに交わらない
それぞれ オデッセイ

永遠の距離 数メートル
結局俺は 君は みんなは自分のやり方で浮いてる
だんだんと彼方へ

誰かに見て欲しい ちょっと話を聞いて欲しい
あーくたびれるなめんどいなー でも たまには近くに行こうか

同じ色だから 同じ水だから 同じ土だから
同じ船だからちょっと交わろう
さびしがりやのオデッセイ

ありきたりの感謝だとか 土下座 100 回分のお詫びだとか
返す相手がもういないから 今ここにいる君にこっそりあげよう

ひととこにいたい いればもどかしくなるんでしょ
潤っていたい 潤えば溺れるんでしょ
揺れがおさまればまた揺さぶりたくなるんでしょ
煙がなければ火でもつけたくなんだろう？

同じ色なのに 同じ水なのに 同じ土なのに
同じ船なのに交わらない
さびしいオデッセイ

ありきたりの感謝だとか 土下座 100 回分のお詫びだとかをぶら下げて
返す相手がもういないから 今ここにいる君たちにこっそりあげよう
最後の景色はどんななんだろう 色はちゃんと付いてるのかな
調べる方法なんてどこにもないから 起きてようか眠ってようか悩むね

遥かなオデッセイ サヨナラを言おう
遥かなオデッセイ また出会おう
遥かなオデッセイ サヨナラを言おう
遥かなオデッセイ 旅を続けよう

オリピック

高みを目指して汗をかく 高みを目指して汗をかく
それが何になるのかならないのか もう俺にはわかんない

高みを目指して涙を流す 期待を背負って謝ったりする
それが何になるのかならないのか もう俺にはわかんない

テレビの前で酒を飲む 文句を言いながら酒を飲む
それが何になるのかならないのか もう俺にはわかんない

レンズ

もやついた気分大詰め 妙に吸いがいい悪い酒
いい空気のカウンターに昼のモアレを思い出してる

なるべく帰りたくない 飲み込まれてしまいそう
いい温度のソファァー ご満悦だけどそろそろ酔いが満タン

揺らついた光は少しだけ救ってくれるみたい
千鳥足で 帰ろう くたびれたなんてまだ言わない

踊るフレアはやけにご機嫌 なるべくなら溺れて潜りたい
いい空気のカウンターに無理矢理へばり付いてる

なるべく帰りたくない もっともっと痺れてたい
下で下で絨毯のようにむりやり落ちていたい

チラついたあれは涙と呼ばない今夜は
千鳥足で 帰ろう くたびれたなんてまだ言わない

水平線

スネだけだったら勘弁してよ
そこまで包んで愛しあおうよ
出かける先が真っ暗闇なのは どこの誰にでも平等

ゆらゆらと浮かんでる そよ風にノセられて勘違いしてる

焼けて爛れて燃え残った跡には無限の水平線が
ヨット浮かべてお酒を注いで 電波、テレビをつまみに喋ろう
小さい傷、昔のやつ まだ抱えてるなんて恥ずくて言えない
ヨットの上で軽く溺れてレコードつまみに喋ろうか

スネだけだったら勘弁してよ
そこまで包んで愛しあおうよ
出かける先が真っ暗闇なのは どこの誰にも平等

いつまでたっても子供は子供 大人だなんて幻想だもの
見聞きしたことはだいたいフィクションで 感じることが正解

君のことって知っているよってクソほどのコトしか出てこねえや
なるべくだったら素敵だよって言って欲しいと願ってるんだ
ミナモの波紋は他人のコトで手を差し入れても流れていくよ
ヨット浮かべてお酒を注いでタラレバと並んで喋ろうか

スネだけだったら勘弁してよ
そこまで包んで愛しあおうよ
出かける先は真っ暗闇なのはどこの誰にでも平等

いつまでたっても水平線で宝の島など幻想だもの
エンディングなんてはだいたいフィクションで 感じることが正解

ゆらゆらと浮かんでる そよ風にノセられて勘違いしてる
欲しいのは愛情 と 贅沢を輪にかけて 憎まれもせずに

冬のつぶやき

答えから目を背けるように安い約束が守られた
安心を繰り返したいよね 忘れてしまえば片付くよね

他愛のないのと引き換えに約束がひとつ破られた
さみしくないのが救いになるから 憧れるフリして身を守る

めんどくさいからいつも笑ってる人
楽チンだからいつも泣いている人
ベタベタと空気の上に張り紙をして
誰かしら誰かに気がついて欲しいよね

そうだね アンタの言った通りだね
10年経って そう さっきちょっと思った
あーあ 俺は何をしようかな 歌でも歌おっか

清々しいほど乾いてる空気はちょっと目が痛む
平然とした 平靜な 当然なカラッカラだ
誰かライターを持ってこい

ちょっと殺せば乗つかれる 飛び降りる時には全部死ぬ
さみしくないのが結局のところ
... 誰か酒でも持ってこい

そうだね アンタの言った通りだね
10年経っていい加減あきらめがついた
あーあ 俺は何をしようかな 歌でも歌おっか

めんどくさいからいつも笑ってる人
楽チンだからいつも泣いている人
ベタベタと空気の上に張り紙をして
誰かしら誰かに気がついて欲しいよね

そうだね アンタの言った通りだね
10年経って そう さっきちょっと思った
あーあ 俺は何をしようかな 歌でも歌おっか

白夜

そろそろ始めようか 静かに横になるから
枕元に立ってりゃいいさ

笑って見てればいいさ 長いことになりそうなんだ
ながーいやつが始まるんだ

大したやつとかおかしなこととか
世界中見渡せばそんなんゴロゴロだ
ドウ ダ ドウ ダ ドウ

静かに昼は沈んでついに夕日が顔を出した
ここからがエラくかかるんだ

涙が出たとか 死ぬほど溢れたんだとか
世界中見渡せばそんなんビチョビチョだ
ドウ ダ ドウ ダ ドウ

外はエセ幸せだらけ
外は そう エセ悲しみだらけだ

そろそろ始めようか
ながいながいお終いってやつをさ

